

レジスタンス  
の  
すすめ

新報

怖ろしい米国の  
企み  
齋藤貴男

日米首脳会談から帰国した安倍晋三首相がとびきりの笑顔を振りまいている。尖閣諸島の問題でオバマ大統領の有効な言質を引き出すことはかなわず、中国の新華社通信に「日本の指導者は冷遇された」と揶揄されたことは、恐ろしく自信満々の面持ちだ。

会談ではTPPへの交渉参加について「すべての関税撤廃を前提にしない」との共同声明を勝ち取ったとされる安倍首相。

コメなどを例外としたい日本側の要求が通る可能性が出てきたと受けとめられて、直後に共同通信社が実施した世論調査は前回調査を10ポイントも上回る63・0%の人々がTPP交渉参加に賛意を示す結果となった。

コメの例外化が確約されたわけでもないのにうんぬんとTPP反対派は不満だが、なかなかどうして、アベノミクスの効果とされる株高や円安とも合わせ、ご本人にああまで胸を張られると、これはこれで「ホンモ

ノ」なのかもしれないと思えてきた。安倍さんなら確かに、TPPでもどこにかできるのではないか。株高も円安も、とりあえず参院選までの間はそう簡単に反転しないはず…。

彼の手腕を褒めているのではもちろんない。安倍政権に対してアメリカがそのように持っているのに違いないと私は考えているのだ。

ただし後が怖い。日本の大衆にいい顔をさせてやる代わり、参院選が終わったら必ず憲法を変えろよな、の条件付き。いつでもどこでも戦争に付き合えよ、自衛隊改め「国防軍」および日本国民は米軍の傭兵だぜ、と。

しよせんは想像の世界だ。陰謀論のそしりもやむを得ないが、少なくとも目先の動きに一喜一憂している場合ではないとだけは言い切れる。そのような国に成り下がったら最後、日本に暮らす人間は生きる資格そのものを失いかねない。



- 5役会議で4・5月の闘いを決めました 協力をお願いします
- ① 沖縄連帯キャラバン (講演会)
  - とき 4月10日(木) 18時30分
  - ところ 高岡商エビル4F
  - 講師 あしとみ浩
- ② オ14回評議員会 (6ヶ月の総括と今後6ヶ月の方針)
  - 4月19日(金) 15時 自治学館
- ③ 憲法キャラバン
  - 5月3日(祝・金) 県内4B街宣
  - AM9時・PM5時まで
- ④ 5・3憲法講演会 (香山リカ講演)
  - 富山国際会議場で17時から 日音協・ダルク
  - 17時30分 講演会
- ⑤ TPP反対県民集会 (集会とデモ)
  - 5月25日(生) 10時
  - 農協会館